



# 北九州市観光振興プラン検討会

## 第1回協議資料

令和4年7月12日  
北九州市産業経済局観光課

# 1 観光振興プランの策定について

- (1) 現行観光振興プランの振り返り
- (2) 次期プラン策定スケジュール

# 1-1) 現行観光振興プランの振り返り

- 平成26年5月に北九州市観光振興プランを策定。計画期間は平成26年度から令和元年度の6年間。(コロナ禍のため、現行プランを延長中。)
- コロナ収束後の観光需要の復活を見据えた観光振興の方向性を示し、宿泊税の使途の指針を示す必要がある。

## 現行の観光振興プラン (H26.5~R2.3)

~『ありがたい姿』

近い将来「北九州市に観光にいこう！」と言われる観光都市になる』へ~

- 6つの戦略**
- ①「北九州市＝観光都市」のイメージ醸成
  - ②観光資源の発掘・磨き上げ
  - ③情報発信
  - ④受け入れ体制の整備
  - ⑤MICE戦略〈都市型集客〉
  - ⑥インバウンド戦略

+ **69アクションプラン**

	目標	実績 (R1年度)	達成度・評価
延べ観光客数	2460万人	2420.8万人	98%・○
宿泊客数	130万人	192.9万人	148%・◎
観光消費額	976億円	1345.4億円	138%・◎
観光地度	45%	23.8%	53%・△

# 1-(2) 次期プラン策定スケジュール

日程	内容	概要
令和4年7月	第1回観光振興プラン検討会	〔委員紹介、現行プランの振り返り、現状の整理、今後のスケジュールの確認、目標設定〕
	市政モニター調査	
令和4年8月	第2回観光振興プラン検討会	〔プランの柱、戦略、主要3地区（門司港・和布刈、小倉都心部、東田・皿倉）のアクションプランを含む具体的施策の検討、（市政モニター調査結果報告）〕
令和4年11月	第3回観光振興プラン検討会	〔素案の検討〕⇒素案の策定
令和4年12月	パブリックコメント	
令和5年2月	第4回観光振興プラン検討会	〔パブリックコメント結果報告、修正後のプラン案の説明〕
令和5年3月	成案策定、公表	

## 2 北九州市観光の現状と最近の取組

- (1)北九州市の人口推移
- (2)宿泊税について
- (3)北九州市の観光の現状

# 2-(1) 北九州市の人口推移

- 北九州市の人口は減少傾向にある。働く世代(15～64歳)の人口比率も年々減少。
- 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標「北九州市への新しいひとの流れをつくる」ための具体的な施策として「観光・イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大」を明示。

図 北九州市の人口の推移(単位:千人)

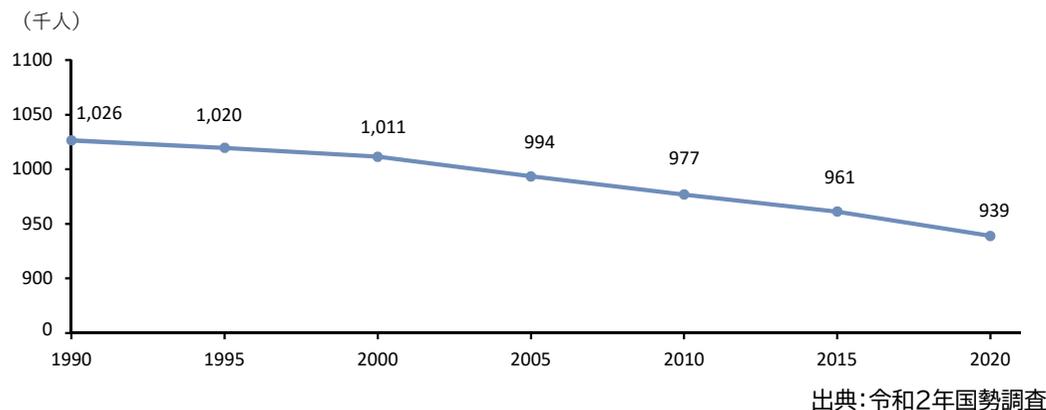


図 北九州市の年齢3区分人口構成比の推移

年	0～14歳	15～64歳	65歳以上
1990	18%	69%	13%
1995	15%	69%	16%
2000	14%	67%	19%
2005	13%	64%	22%
2010	13%	62%	25%
2015	13%	58%	29%
2020	12%	56%	32%

出典: 令和2年国勢調査

図 北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略



## 2-(2) 宿泊税について

- 令和2年4月から、宿泊者1人1泊につき200円(市150円、県50円)の宿泊税を徴収。
- 使途は北九州市観光振興プランに基づく施策に充当。

表 宿泊税の主な事業内容

	予算額	主な事業内容
令和2年度	275,000千円 (決算額 128,975千円)	【観光資源の発掘、磨き上げ、受入環境の整備】 ・小倉駅観光案内所のリニューアル ・メディアを活用した観光のPR ・修学旅行など団体客誘致
令和3年度	313,000千円	【コロナの影響に苦しむ宿泊事業者、旅行業者等への支援、需要回復に向けた受け入れ環境整備、日本新三大夜景都市再認定に向けた取組強化】 ・OTAを活用した宿泊キャンペーン ・デジタルサイネージ設置などによる観光案内機能強化 ・夜景の景観整備やイベント・PRの強化
令和4年度	360,000千円	【コロナをきっかけとして生まれた新たな需要への対応、夜景・産業観光等強みを活かしたプロモーション、持続可能な観光に向けた観光関連施設の整備】 ・観光モデルコースの造成、モニターツアーの実施 ・八幡東田地区から市内各所へ周遊モデル事業 ・ワクチン検査パッケージを活用した宿泊・観光助成

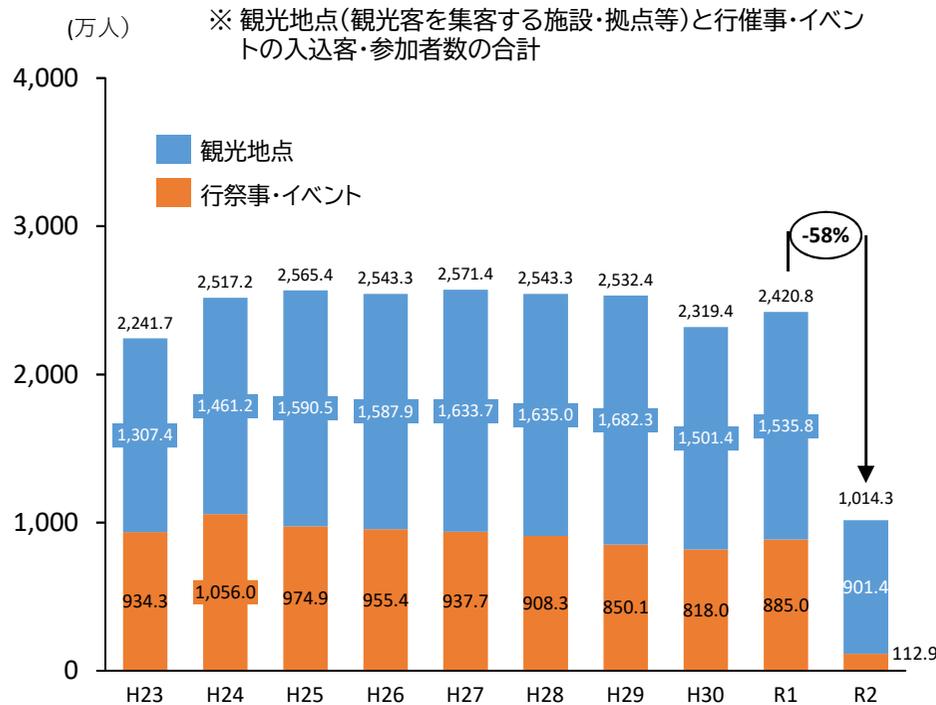
# 2-(3) 北九州市の観光の現状①

## ■ 観光入込客数の推移

- 平成30年のスペースワールド閉園の影響により一時的に落ち込んだものの、令和元年は回復。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、延べ観光客数では前年比マイナス50%以上の減少。

### ◇延べ観光客数

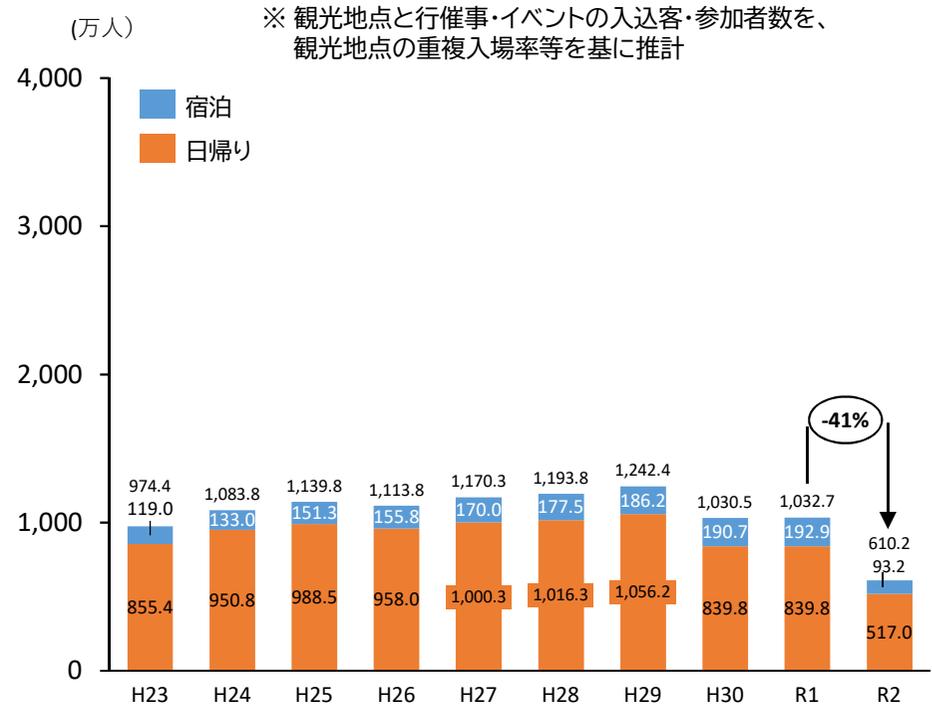
図 北九州市の延べ観光客数の推移



出典：北九州市観光動態調査

### ◇実観光客数

図 北九州市の実観光客数の推移



出典：北九州市観光動態調査

# 2-(3) 北九州市の観光の現状②

## ■ 観光消費額、観光消費額単価の推移

- 観光消費額単価は令和3年で宿泊18,003円、日帰り1,909円（ただしコロナ禍における旅行支援制度による割引の影響があり）。
- 主に交通費の占める割合が大きい。

### ◇消費額単価（宿泊）

図 宿泊観光における消費額単価

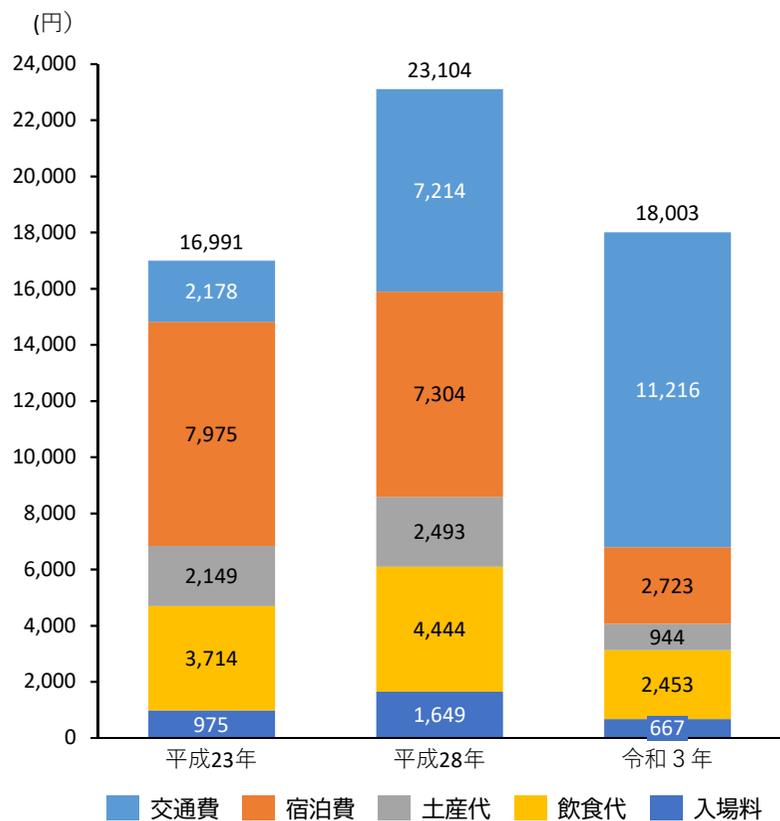


図 北九州市の観光消費額単価内訳の推移（単位:円）

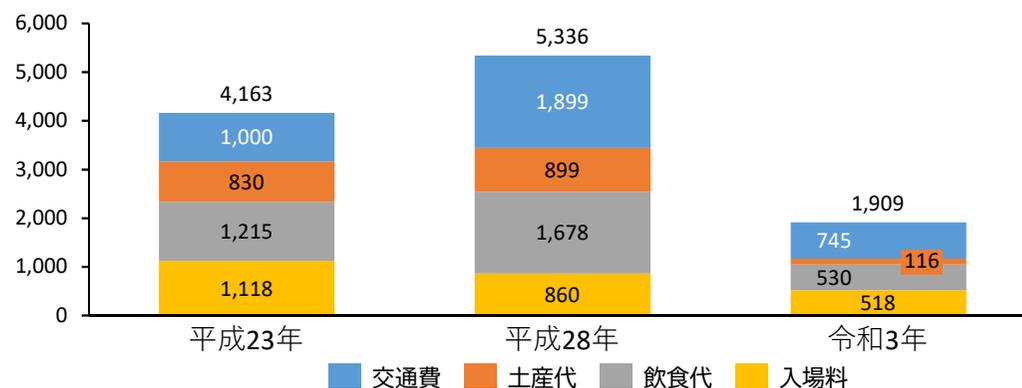
	平成23年調査		平成28年調査		令和3年調査	
	宿泊観光	日帰り観光	宿泊観光	日帰り観光	宿泊観光	日帰り観光
交通費	2,178	1,000	7,214	1,899	11,216	745
宿泊費	7,975		7,304		2,723	
土産代	2,149	830	2,493	899	944	116
飲食代	3,714	1,215	4,444	1,678	2,453	530
入場料	975	1,118	1,649	860	667	518

※単価内訳の合計は一人当たり消費額単価とは一致しない

出典：北九州市観光動態調査

### ◇消費額単価（日帰り）

図 日帰り観光における消費額単価



出典：北九州市観光動態調査

# 2-(3) 北九州市の観光の現状③

## ■ 訪日外国人客数の推移

- 本市への訪日外国人は、台湾、中国、韓国で約8割を占めており、政治的事情に左右されやすい。
- 令和元年には日韓関係の悪化により減少。

### ◇外国人観光客数

図 北九州市の訪日外国人観光客数の推移

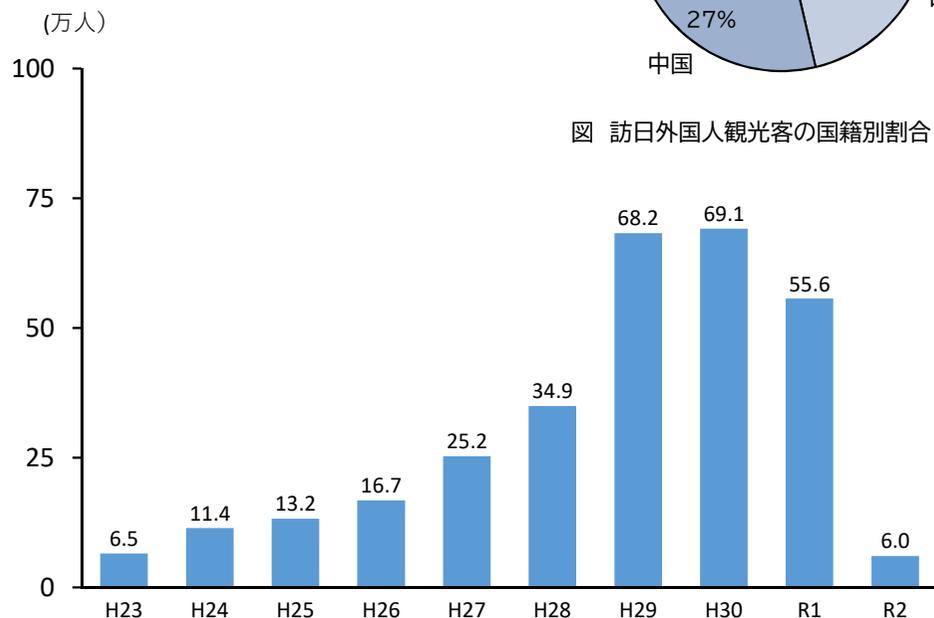
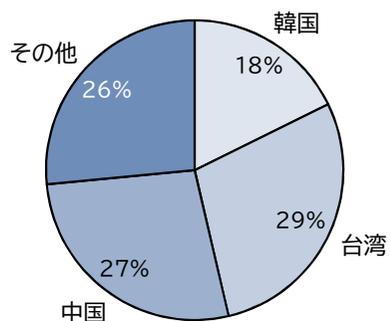


図 訪日外国人観光客の国籍別割合 (R1)



出典：北九州市観光動態調査

### ◇外国人宿泊客数

図 北九州市の訪日外国人宿泊客数の推移

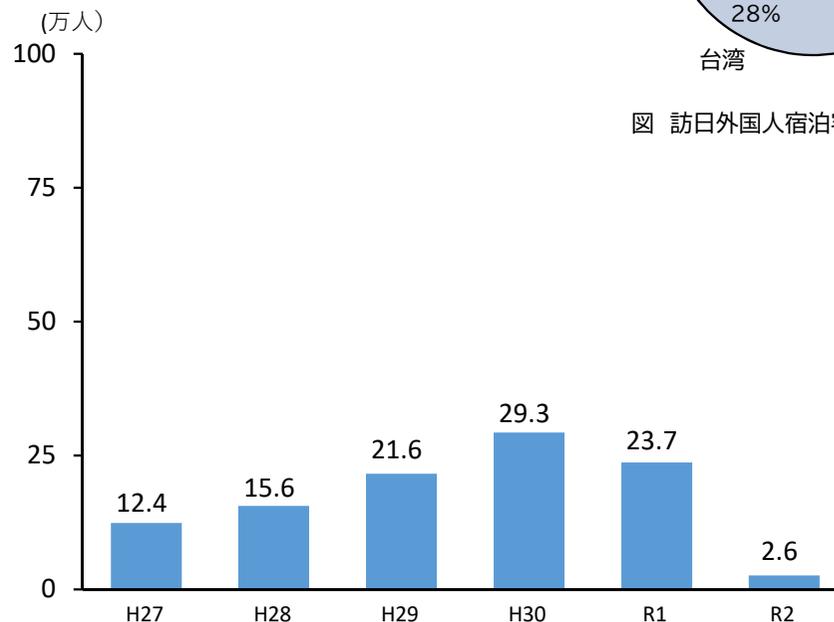
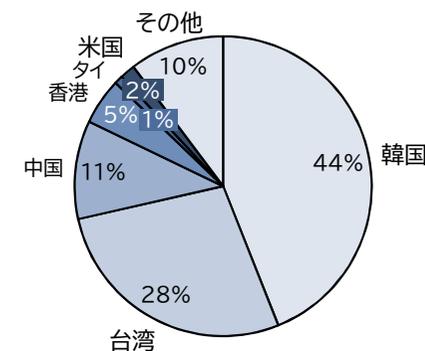


図 訪日外国人宿泊客の国籍別割合 (R1)



出典：北九州市観光動態調査

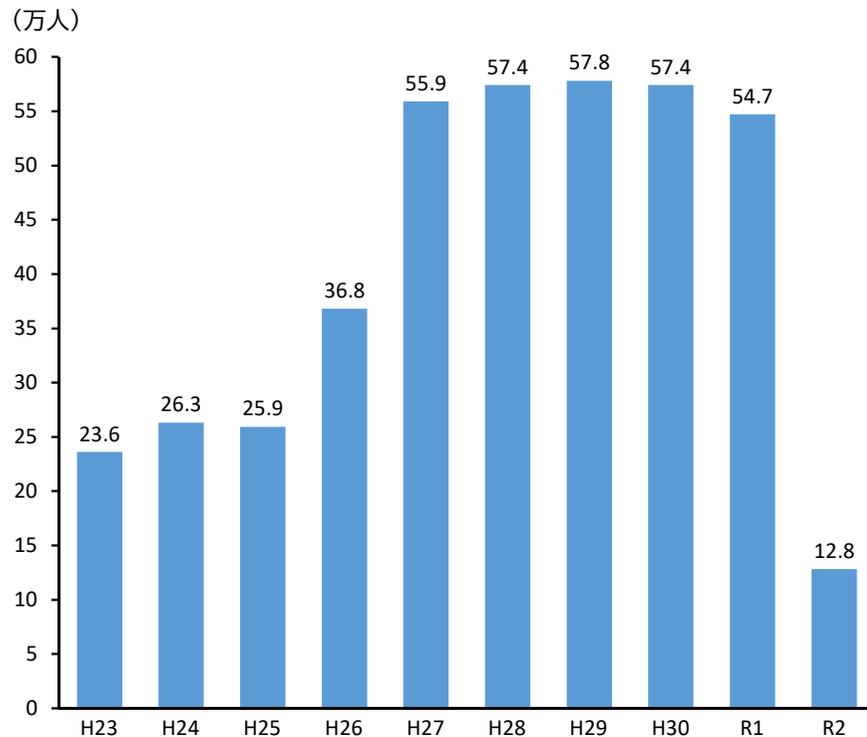
# 2-(3) 北九州市の観光の現状④

## ■ 産業観光、修学旅行の推移

- 産業観光は、近年50万人を超える観光客数で推移。修学旅行は平成30年以降、急減。
- 産業観光は地域の歴史・文化資源を活かした重要な観光資源。それを活かした修学旅行（教育旅行）は、団体客や閑散期対策にもつながる重要な市場である。

### ◇産業観光客数

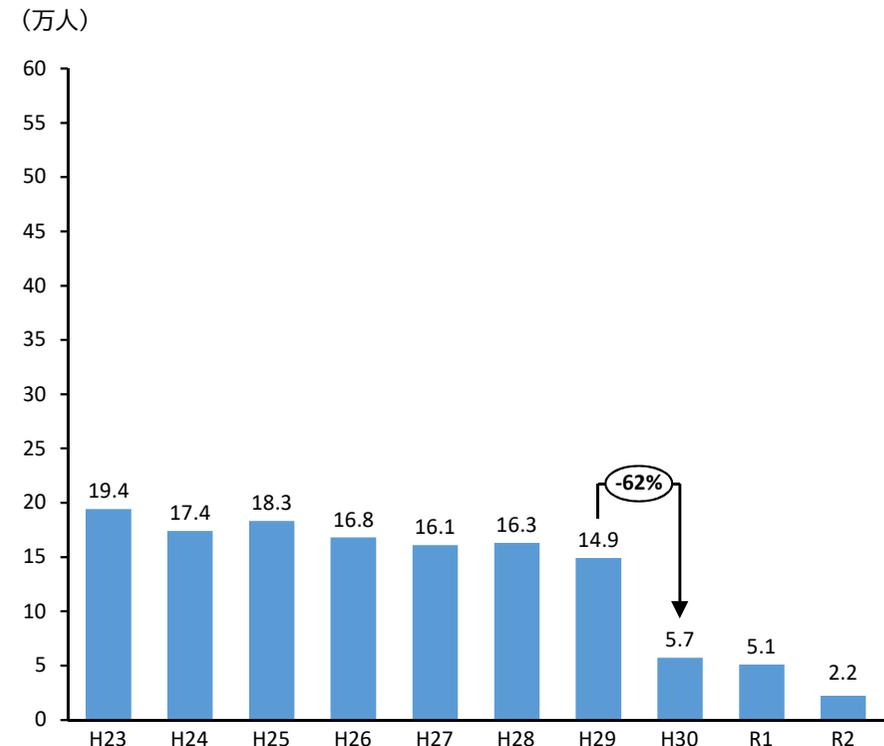
図 北九州市の産業観光客数の推移



出典：北九州市観光動態調査

### ◇修学旅行生数

図 北九州市の修学旅行生数の推移



出典：北九州市観光動態調査

# 2-(3) 北九州市の観光の現状⑤

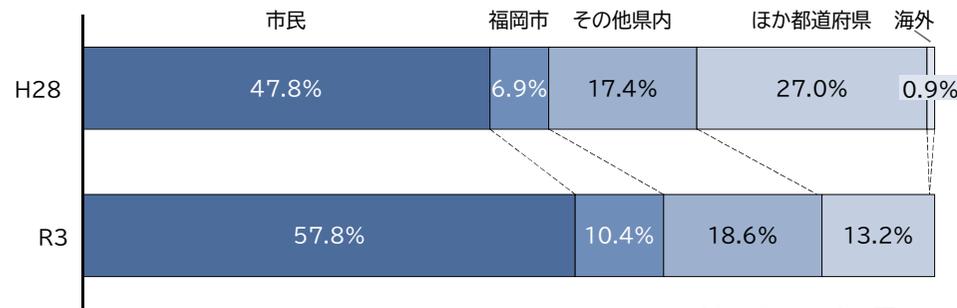
## ■ 観光客・宿泊客の旅行先の変化

- コロナ禍で、全国的に居住都道府県内の宿泊客の割合が増加しており、北九州市においても、市民と福岡市からの観光客・宿泊客が増加。宿泊客は県内の割合が増加。
- こうした傾向は、市民や近隣住民が集う都市、住みたい・暮らしやすい都市といった北九州市の強みを生かすチャンスになり得る。

図 北九州市の観光客・宿泊客の旅行先の変化

### ◇居住地（観光客）

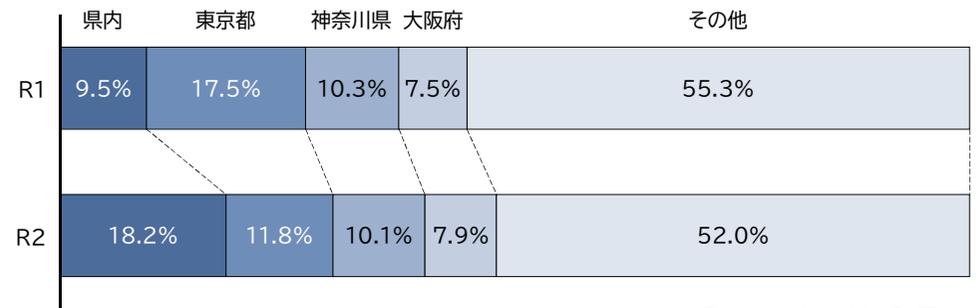
【観光地点等を訪れた観光客の居住地】



出典：北九州市パラメーター調査

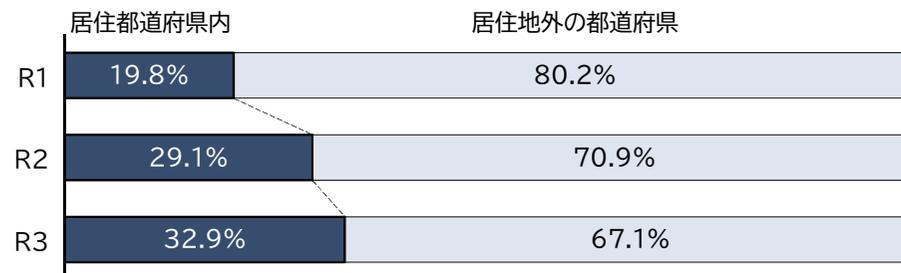
### ◇居住地（宿泊客）

【宿泊客の居住地】



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査

図 全国宿泊客の旅行先の変化



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査

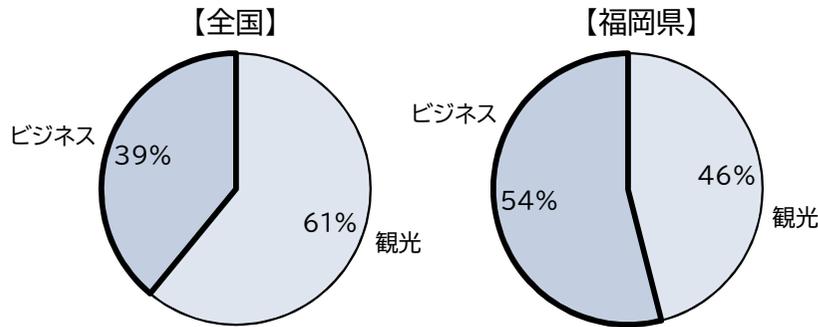
# 2-(3) 北九州市の観光の現状⑥

## ■ 本市来訪者の特徴（福岡県のビックデータによる分析。観光客以外の来訪者を含む）

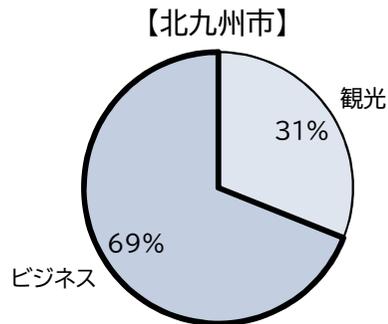
- 本市への宿泊客の来訪目的の約7割がビジネス。全国や福岡県と比べても多い。
- 観光客の居住地をみると、福岡県外からの来訪も多い。県外は山口県からの来訪、宿泊が比較的多い。

### ◇来訪目的

図 宿泊観光客における来訪目的



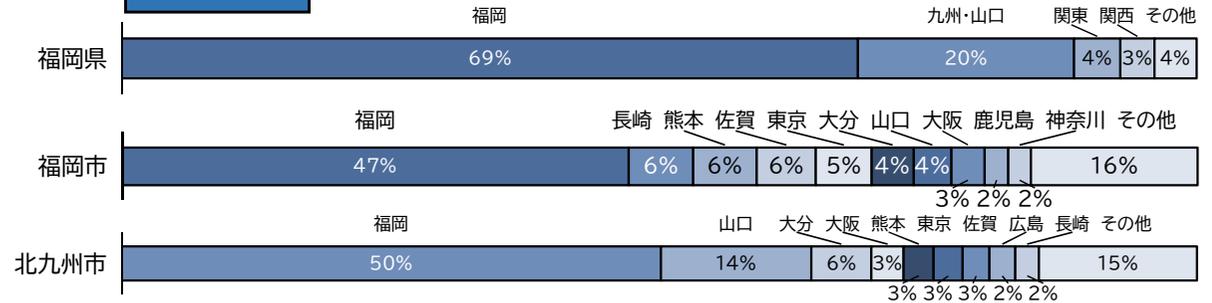
出典：令和元年観光庁全国観光入込客統計に関する共通基準報告書



出典：令和元年次北九州市観光動態調査

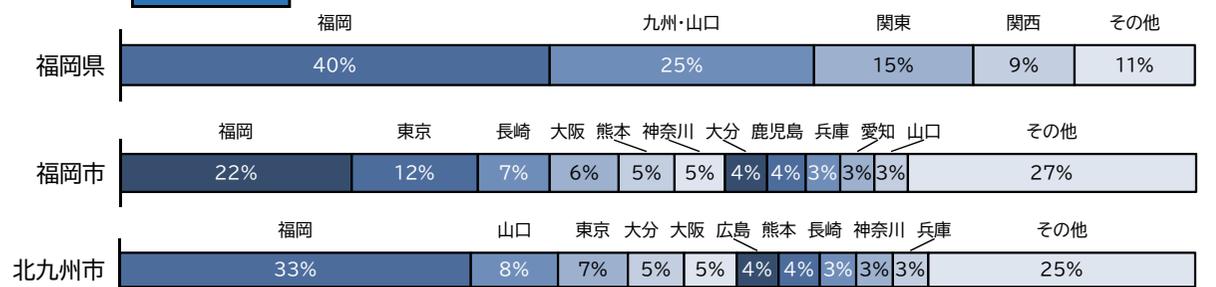
図 観光客の居住都道府県構成割合(対象期間:令和元年(2020).1.1~12.31)  
※北九州市民除く

### ◇日帰り



### ◇宿泊

(帰省客・友人・知人訪問客含む)



※旅行者数:「片道移動距離80km以上もしくは所要時間8時間以上」の移動を旅行者として抽出。  
時間区分に関係なく(0-23時台)、ひとつのエリアに2時間以上滞在している来訪者数の実人数の総数。  
※宿泊者数:夜間時間帯(2-4時台)に、ひとつのエリアに2時間以上滞在している来訪者数の延べ人数の総数。

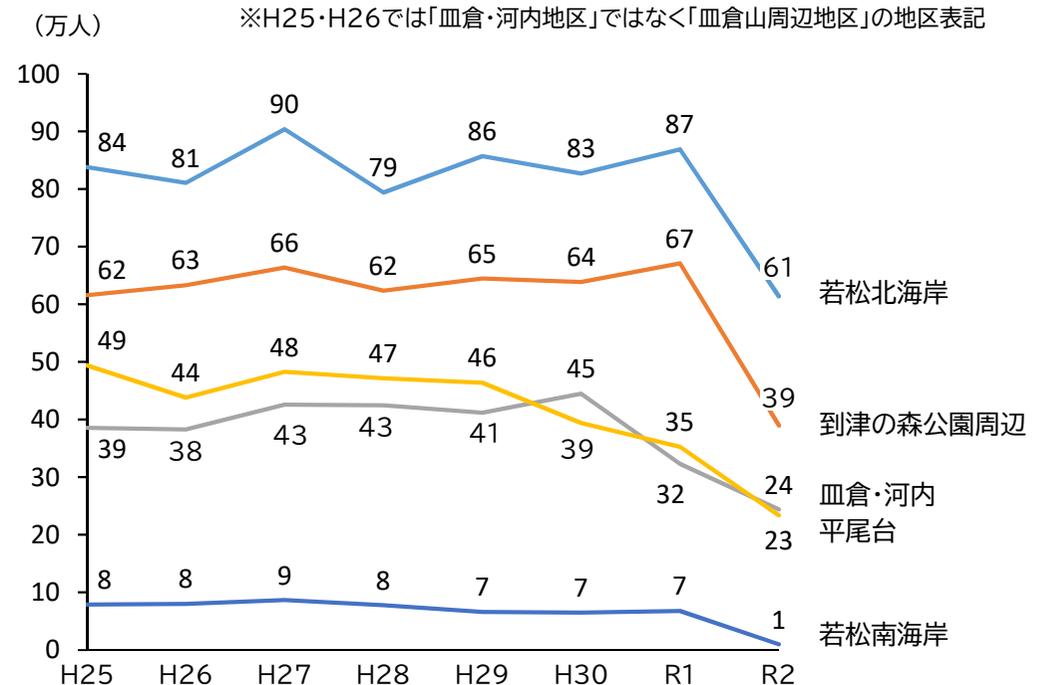
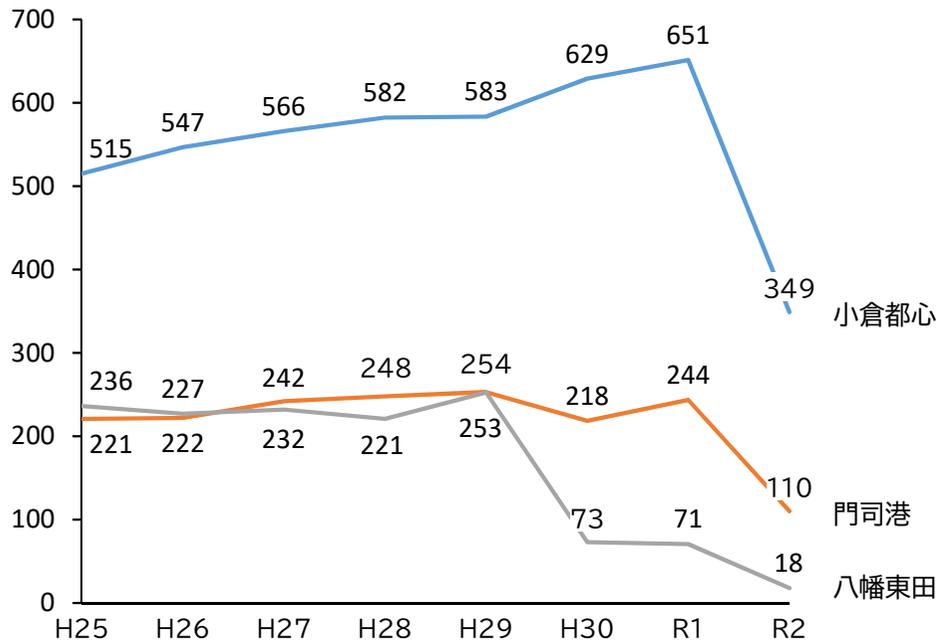
出典：2021年「モバイル空間統計」による福岡県観光ビッグデータ調査報告書

# 2-(3) 北九州市の観光の現状⑦

## ■ 地区別観光客数の推移

- 北九州市の観光の中心は小倉都心、門司港地区。
- 若松北海岸（玄海国定公園）、若松南海岸通り（大正建築が残る若松バンド）、到津の森公園、皿倉・河内（皿倉山等の景勝地・夜景スポット、近代化遺産や環境教育）、平尾台（鍾乳洞やアウトドアアクティビティ等）等、特色ある地域が広がるが、特に皿倉・河内、平尾台地区の観光客数は近年減少傾向。。

図 北九州市の地区別観光客数  
(万人)



出典：北九州市観光動態調査

# 2-(3) 北九州市の観光の現状⑧

## ■ 本市の観光資源

### 【最近のトピック】

- ◆ 日本新三大夜景都市 全国1位に！
- ◆ 新規施設が続々オープン  
(スペースLABO、ジアウトレット北九州、平和のまちミュージアム、旧安川邸)



皿倉山



スペースLABO

※「日本新三大夜景都市」とは

2015年10月、夜景観光において国内唯一の事業団体である(一社)夜景観光コンベンション・ビューローが、国内外の夜景観光活性化を目指し、全国の夜景観光士に投票を実施。  
(北九州市、札幌市、長崎市)

### 【主な観光スポット】

北九州空港

- ・ 小倉城(天守・庭園・テラス)
- ・ 細川家(茶道・数寄文化)、宮本武蔵・手向山
- ・ 紫川と都市景観、リバーウォーク、旦過市場・魚町
- ・ むかみそ炊き、焼うどん、
- ・ 国際コンベンションゾーン
- ・ 民間産業ミュージアム(ゼンリン、TOTO等民間)
- ・ 市立美術館分館、北九州芸術劇場
- ・ 平和のまちミュージアム【New Open】
- ・ わっしょい百万夏まつり、小倉祇園

- ・ 門司港レトロ
- ・ (関門海峡ミュージアム、九州鉄道記念館)
- ・ 歴史的町並み・海辺・港湾の景観
- ・ 関門海峡
- ・ 港湾クルーズ
- ・ 商店街・バナナ・スイーツ・焼きカレー

- ・ 若戸大橋
- ・ 工場夜景クルーズ
- ・ 市立美術館本館
- ・ 旧松本邸
- ・ 旧安川邸【New Open】
- ・ 戸畑祇園
- ・ 夜宮公園

- ・ 響灘・グリーンパーク(海・ピオトープ)
- ・ 風力・太陽光発電、エコタウン
- ・ 産業遺産・若松バンド
- ・ 学術研究都市

- ・ 畑貯水池
- ・ 長崎街道(日本遺産)
- ・ 木屋瀬宿

- ・ 皿倉山
- ・ 東田ミュージアムパーク  
(いのちのたび博物館、スペースLABO【New open】)
- ・ 世界遺産・旧官営八幡製鐵所関連施設
- ・ THE OUTLETS KITAKYUSHU【New Open】
- ・ 河内藤園

- ・ 平尾台(鍾乳洞、トレイル、グランピング)
- ・ 北九州空港
- ・ ます淵ダム周辺(サイクリング)
- ・ 合馬竹林公園(タケノコ、竹林)

食	新鮮な海の幸	門司港発祥 焼カレー	むかみそ炊き など
自然	平尾台	若松北	皿倉 など
文化	東田ミュージアムパーク	夏祭り	旦過市場 など
歴史	小倉城・庭園	門司港レトロ	旧松本・安川邸 など
夜景	日本新三大夜景都市 全国1位		

※東田ミュージアムパーク構成施設  
…いのちのたび博物館、スペースLABO、スペースLABO ANNEX、北九州市環境ミュージアム、  
北九州市立美術館、東田第一高炉史跡広場、旧官営八幡製鐵所関連施設

## 2-(3) 北九州市の観光の現状⑨

### まとめ

<b>内部要因</b>	<b>【強み】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 歴史・文化・自然・食・SDGsなど、バラエティ豊かな観光資源がそろっている</li><li>✓ 陸海空の結節点で、交通インフラが充実している</li><li>✓ 出張・MICEなど当面底堅いビジネス需要</li><li>✓ 観光振興財源(宿泊税)が財源としてある など</li></ul>	<b>【弱み】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 北九州の観光と言えば“これ！”という代名詞(キラコンテンツ)がない</li><li>✓ 観光資源が市内に散在しており、市内の周遊に時間がかかり、周遊ルートが確立していない など</li></ul>
<b>外部要因</b>	<b>【機会】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 自然・アウトドアなどの新たな旅行需要の高まり</li><li>✓ マイクロツーリズムなど域内需要の増加</li><li>✓ 人口約140万人の北九州市都市圏域の中核都市である</li><li>✓ 福岡市域から新幹線で約15分で、利便性が高い</li><li>✓ 外国人観光客の入国基準の緩和 など</li></ul>	<b>【脅威】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ コロナ後のビジネス需要の変化(減少)</li><li>✓ 近隣人口の減少、少子化</li><li>✓ 施設中心の立ち寄り型観光資源が多く、観光「産業」という市民の意識が希薄</li><li>✓ 足元のコロナ感染者数の状況 など</li></ul>

### 3 コロナ禍による社会・観光の変化

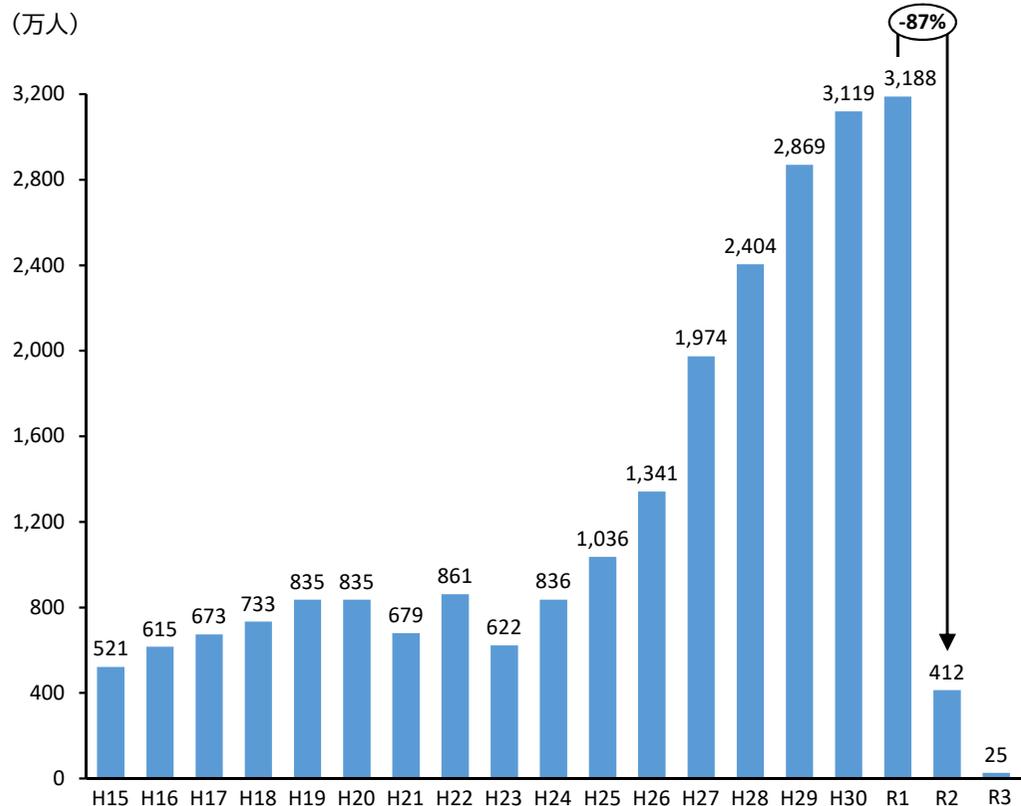
# 3 コロナ禍による社会・観光の変化①

## ■ 外国人訪日旅行・日本人国内旅行の状況

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年より、インバウンド需要はほぼ蒸発。
- 日本人の国内旅行も、宿泊、日帰りとも、令和元年比で、ほぼ半減。

### ◇外国人旅行者数

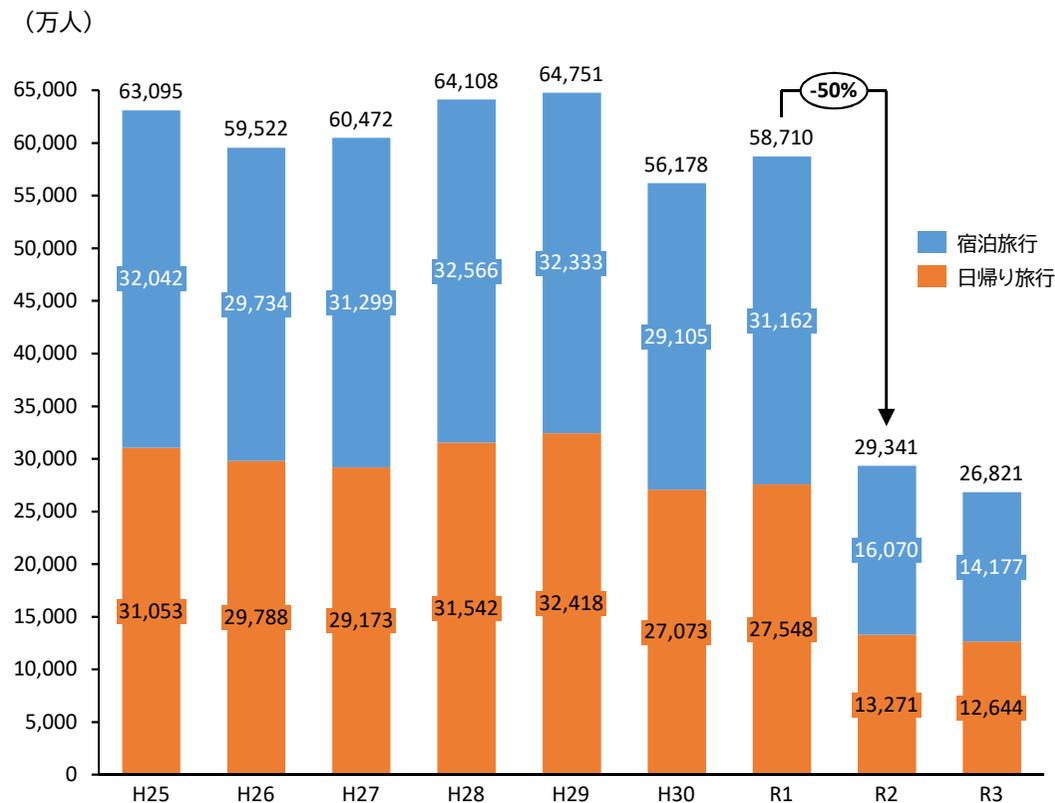
図 訪日外国人旅行者数の推移



出典: 日本政府観光局 (JNTO)

### ◇日本人延べ旅行者数

図 日本人国内延べ旅行者数(宿泊旅行、日帰り旅行)



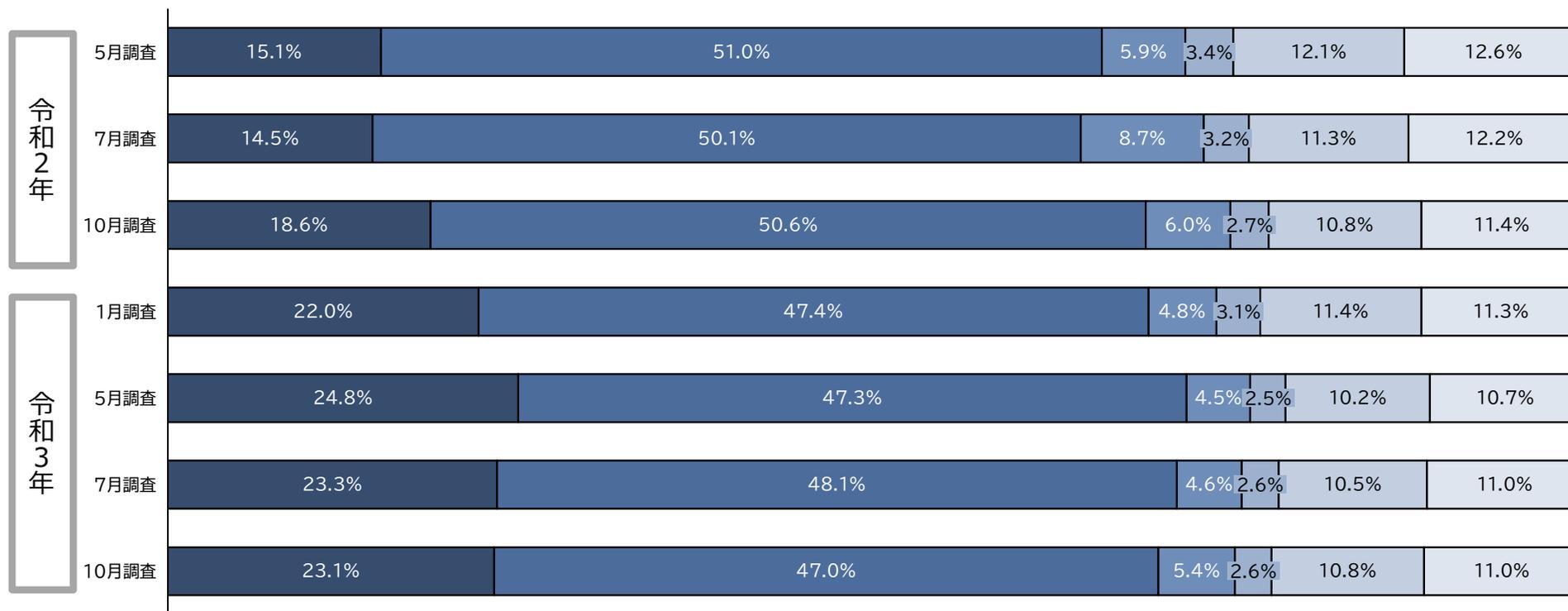
出典: 観光庁「旅行・観光消費動向調査」

# 3 コロナ禍による社会・観光の変化②

## ■ 新型コロナウイルス収束後の旅行意向（日本人）

- コロナ禍の長期化にともない、“自粛してきた分、これまで以上に旅行に行きたい”という思いが増している。

図 日本人旅行者の新型コロナウイルス収束後の旅行意向



※ すべてN=50,000

これまで以上に旅行に行きたい
  これまでと同程度で旅行に行きたい
  これまでのようには旅行に行きたくない
  全く旅行に行きたくない
  コロナ禍前もあまり旅行はしていない
  わからない

# 3 コロナ禍による社会・観光の変化③

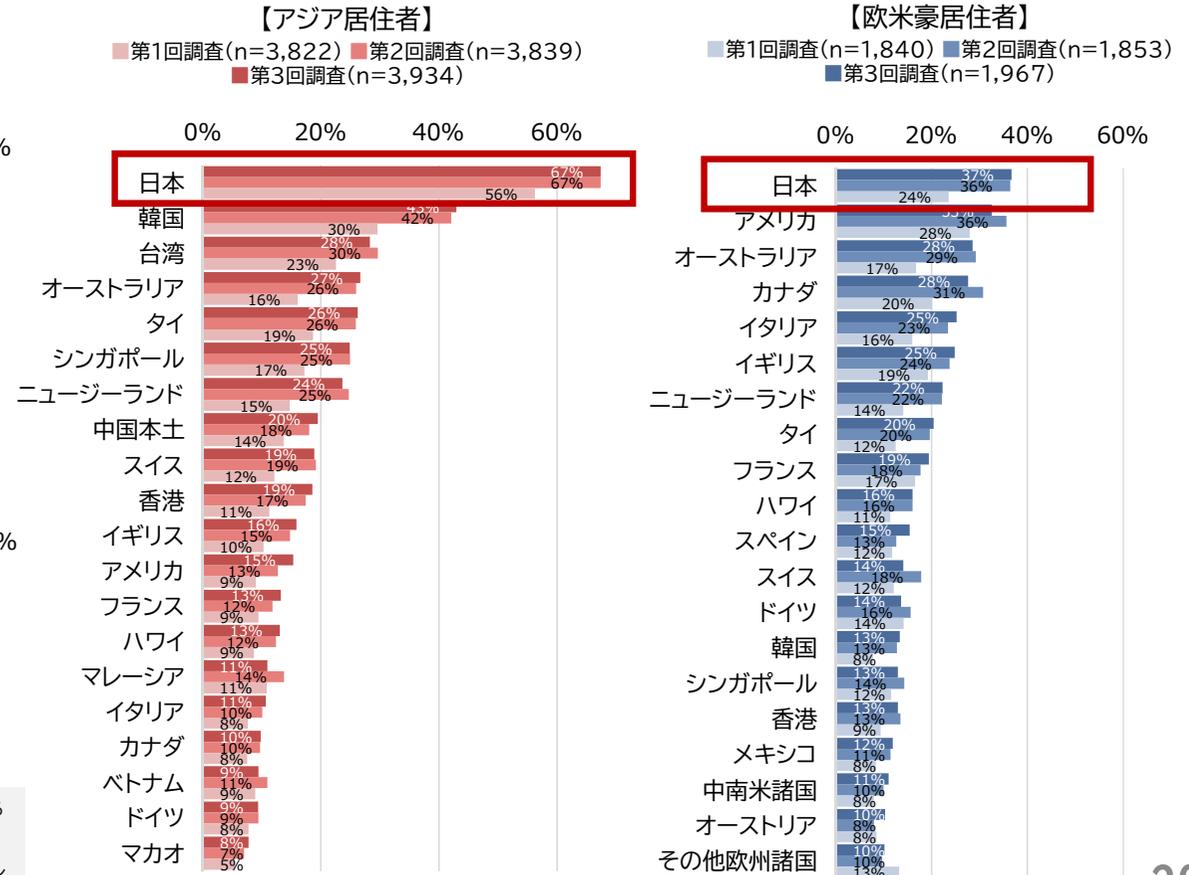
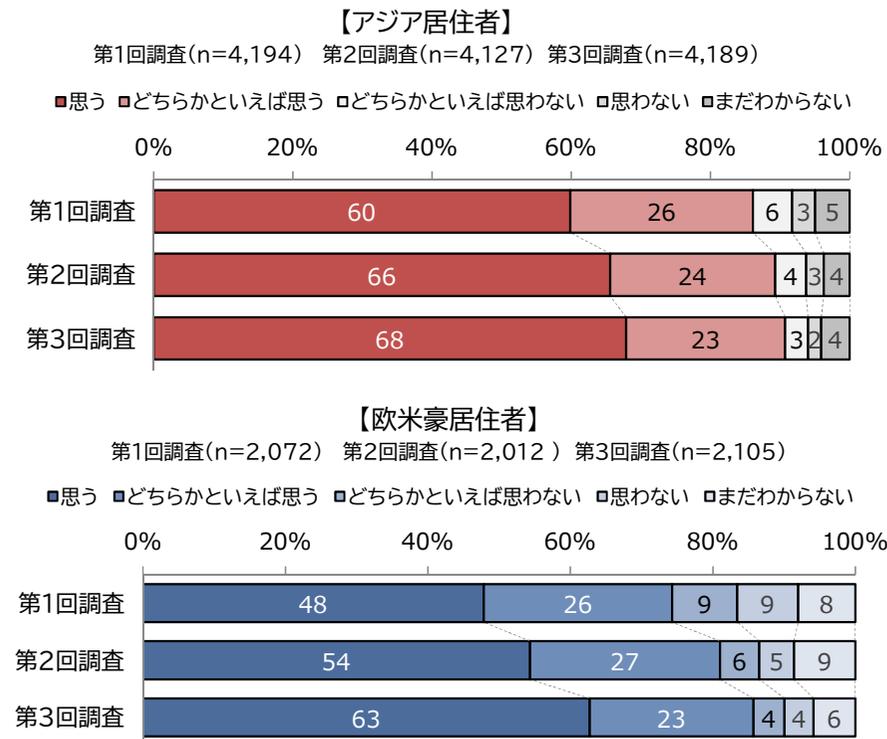
## ■ 新型コロナウイルス収束後の旅行意向（インバウンド）

- コロナ禍の長期化にともない、“また旅行に行きたい”という思いが増している。
- 次に海外旅行したい国・地域として、日本は最も選択されている。

図 新型コロナの流行が収束し、平常状態に戻ったとき、また海外旅行をしたいと思うか(回答は1つ)

図 次に海外旅行したい国・地域(回答は最大5つまで)

(第3回調査における割合で降順ソート・上位20位まで)



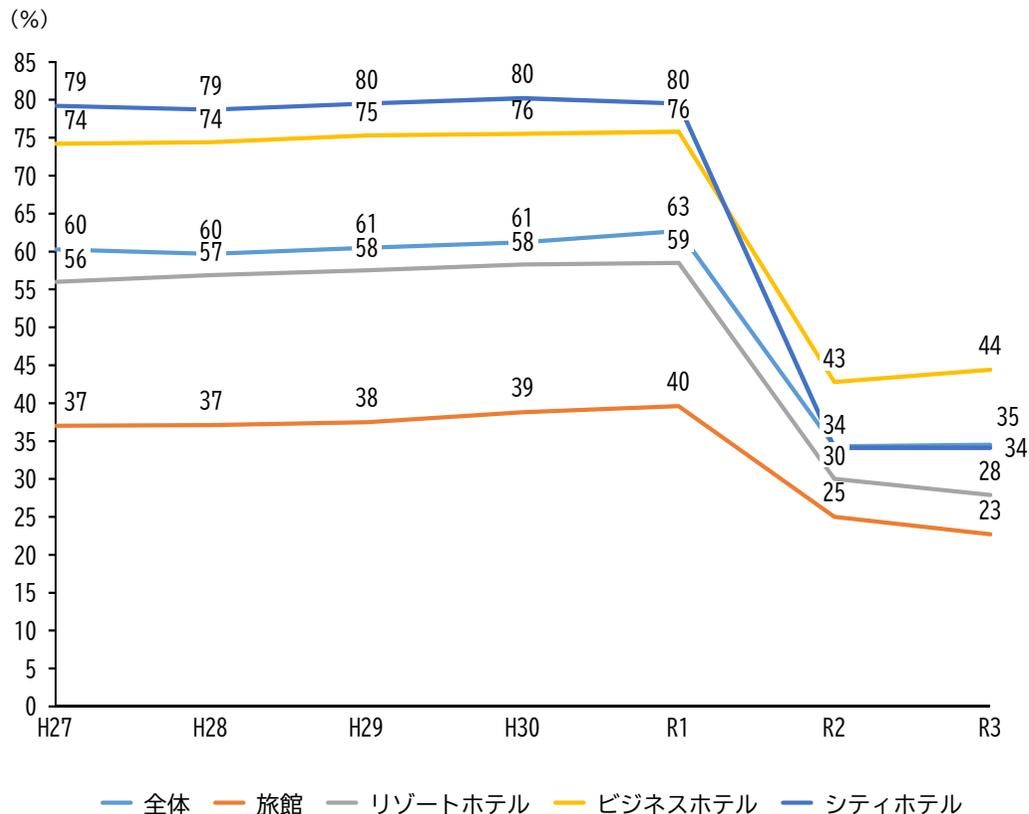
※1 新型コロナ収束後の海外旅行について「(したい) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除き全員から回答を得た。  
 ※2 「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢からは、回答者の国・地域及び近隣の国・地域（中国・香港・マカオ、マレーシア・シンガポール、タイ・マレーシア、アメリカ・カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア・ニュージーランド、イギリス・フランス・欧州各国）を除いている。

# 3 コロナ禍による社会・観光の変化④

## ■ ビジネス需要の変化

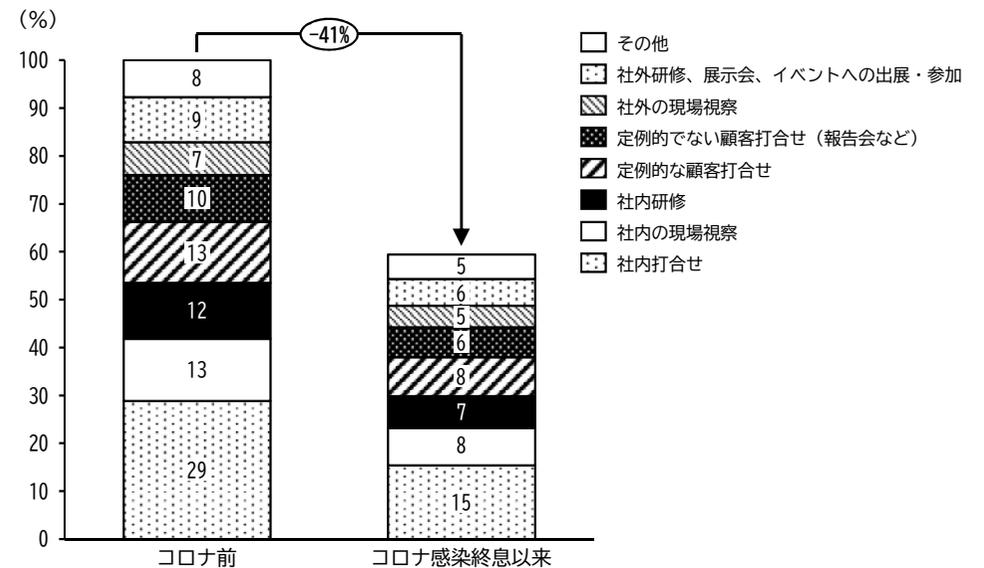
- 宿泊需要の戻りは、まずはビジネスから。
- ただし、ビジネス（出張）需要は出張回数の減少の可能性もあり。今後の動向の注視が必要。

図 宿泊施設タイプ別の客室稼働率の推移



出典：観光庁「観光白書(令和4年版)」

図 新型コロナウイルス感染終息後の出張回数の見通し  
(新型コロナウイルス感染拡大前の水準=100%)



注1：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県にオフィスを持つ単体売上高100億円以上の企業を対象。  
 注2：コロナ感染終息後に目的別の出張回数がコロナ前(2019年(令和元年))と比較してどのように変化するかの見込みについて質問。  
 注3：「感染終息」について、「ワクチンの効果や治療法の確立により、「大規模な感染拡大が起こらない」もしくは「感染が広がったとしても重症化や死亡のリスクは極めて低い状態」と回答者に示した上で調査を実施した。

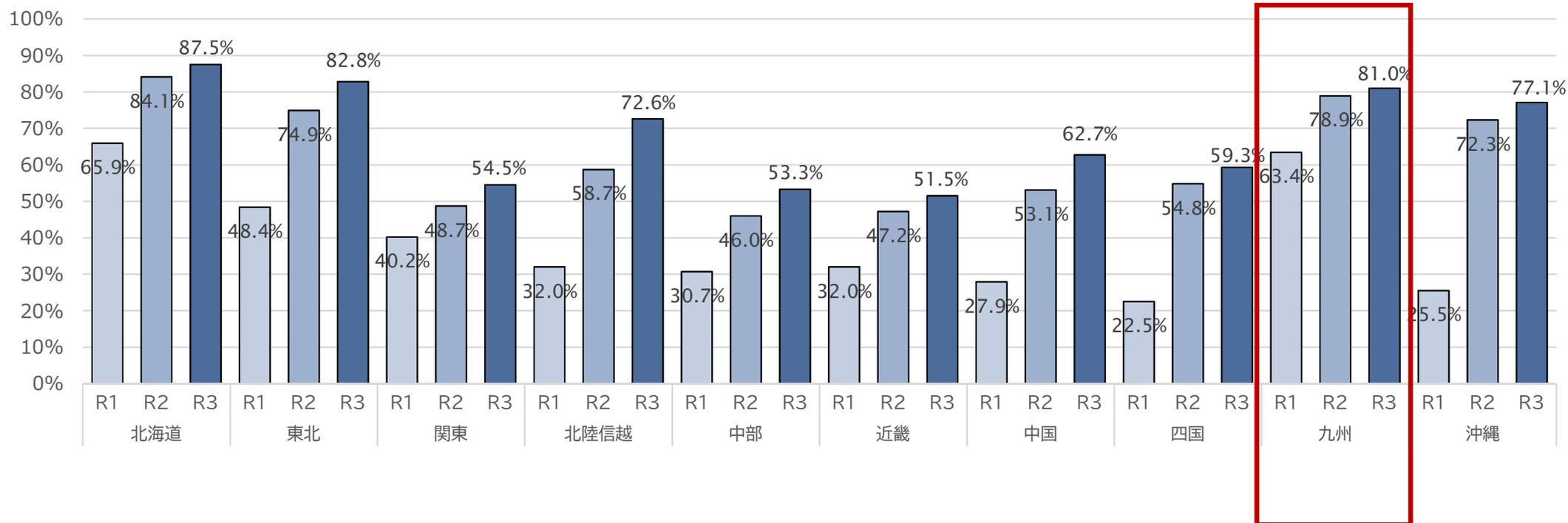
出典：観光庁「観光白書(令和4年版)」

# 3 コロナ禍による社会・観光の変化⑤

## ■ 近隣地域での旅行需要（マイクロツーリズム）の拡大

- コロナ禍をきっかけに、各地域とも近隣地域での旅行者が増加。
  - 九州の特徴は、他の地域より、もともと近隣旅行の割合が高かった。
- ⇒今後の行動制限の緩和による影響は今後の動向の注視が必要

図 居住エリア別地域ブロック内の域内旅行者割合



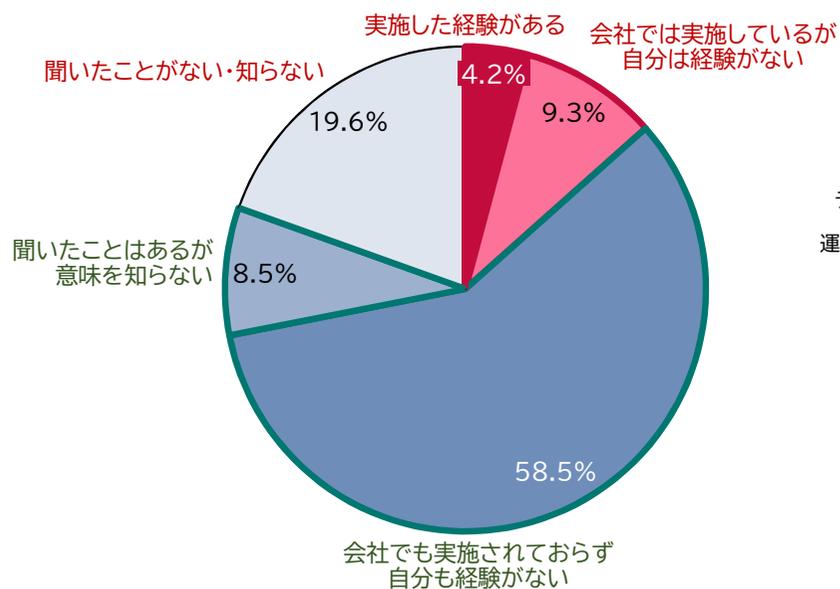
# 3 コロナ禍による社会・観光の変化⑥

## ■ ワークেশョン需要の拡大

- 実際の経験はまだ一部であるものの、「ワークেশョン」の認知と理解は高まりつつある。
- ただし、定着には、雇用者（企業）側の理解が普及に向けた主要課題のひとつ。

### 従業員向けアンケート

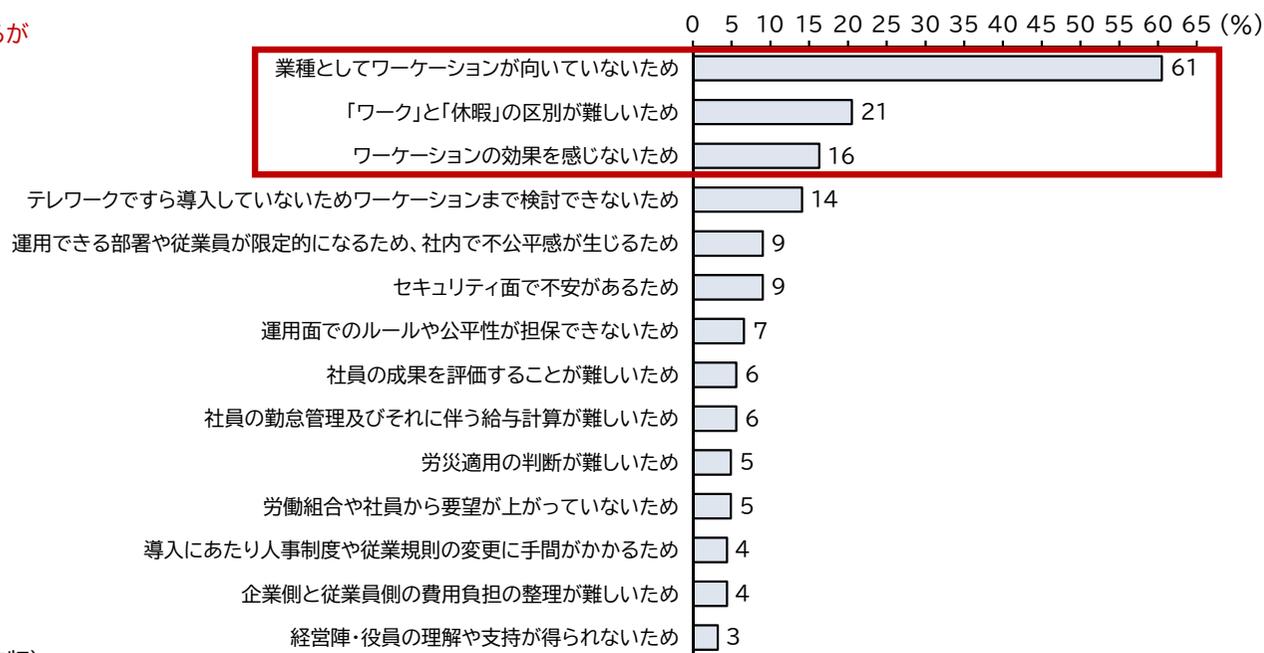
図 ワークেশョンの認知と理解



出典：観光庁「観光白書(令和4年版)」

### 雇用者(企業者)向けアンケート

図 ワークেশョンを導入していない理由(複数回答)



出典：観光庁「観光白書(令和4年版)」

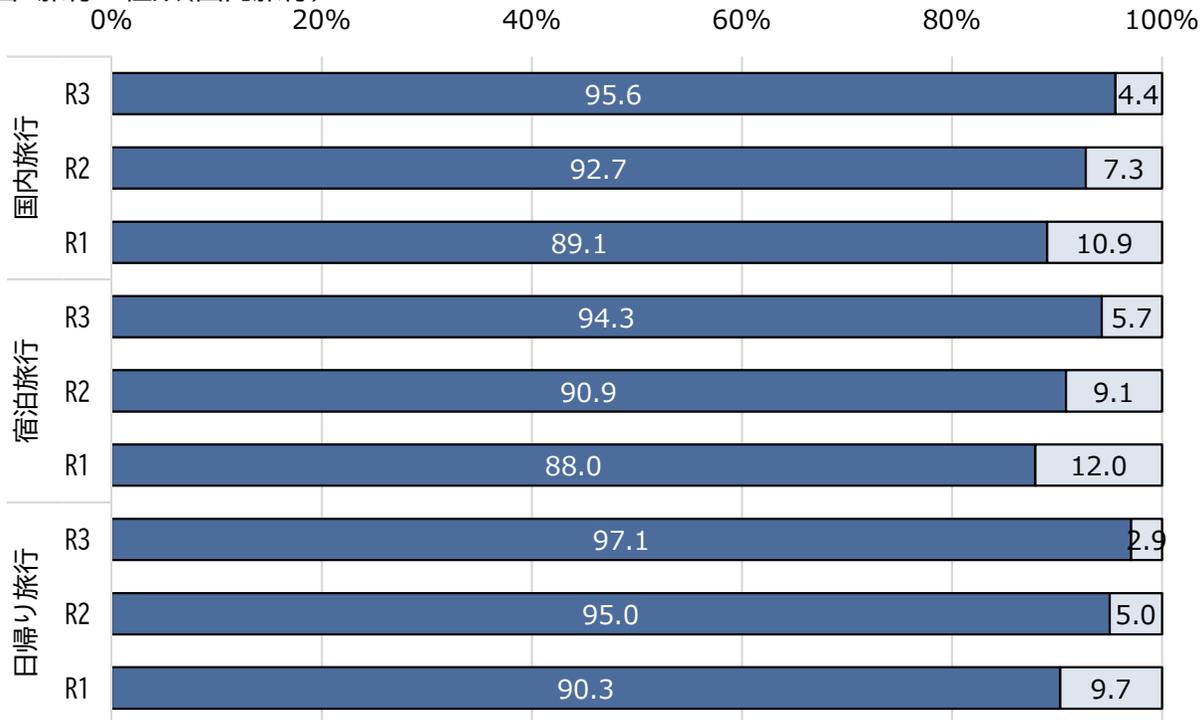
# 3 コロナ禍による社会・観光の変化⑦

## ■ 旅行形態の変化（個人旅行化の加速）

- 新型コロナウイルス拡大をきっかけに、日帰り、宿泊とも個人旅行（FIT）化が加速。
- 訪日外国人観光客の場合もFITの割合はH24年には60.8%、H30年には81.6%と増加傾向になっている。

◇国内

図 旅行の種類(国内旅行)

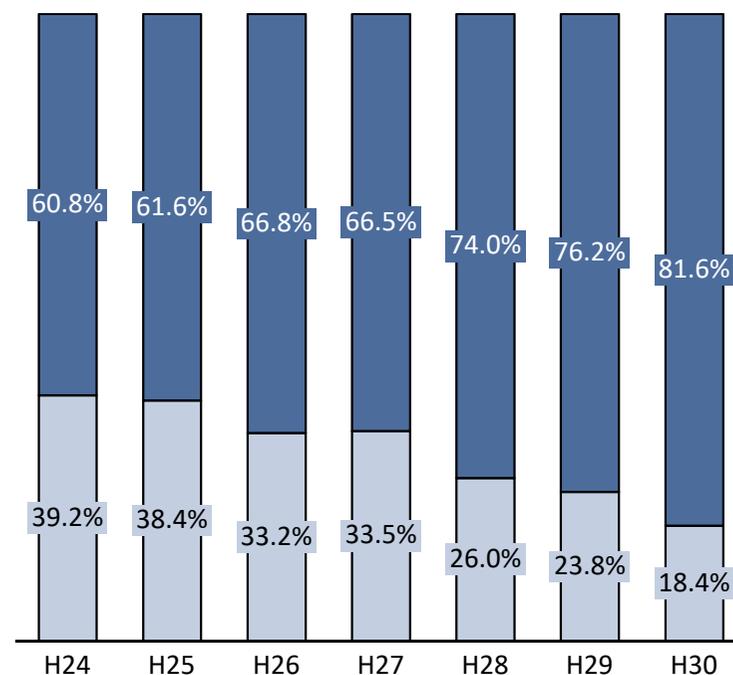


■個人旅行 □パック・団体旅行

出典：観光庁「旅行観光消費動向調査(令和2、3、4年版)」

◇インバウンド

図 旅行の種類(インバウンド)



■個人旅行 □パック・団体旅行

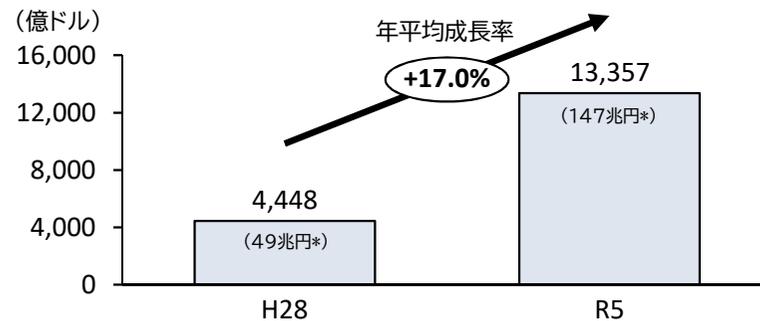
出典：観光庁発表資料より作成

# 3 コロナ禍による社会・観光の変化⑧

## ■ アドベンチャーツーリズムの拡大

- アドベンチャーツーリズム市場は、全国的に拡大すると予測されており、山々、火山、川、湖、海などの自然資源が豊富である日本においても、今後の「成長市場」として注目されている。
- その土地ならではの自然・文化を活かし、国内外の観光客の消費額増加、満足度向上につながるものと期待される。

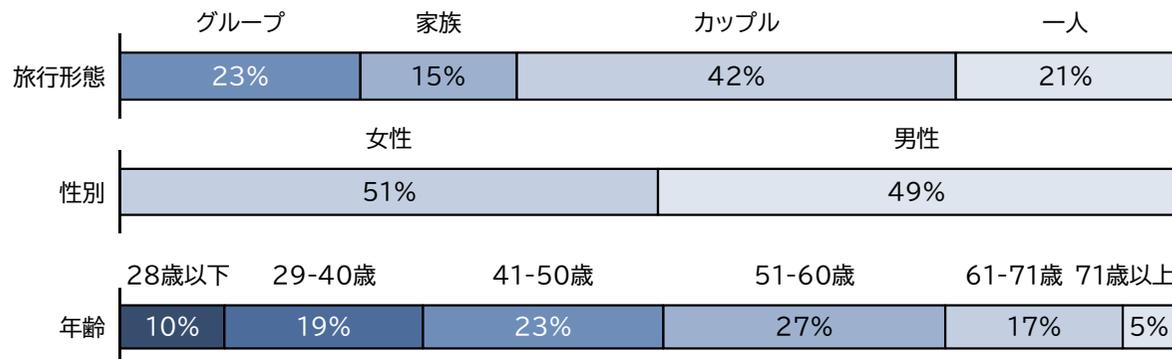
図 AT市場規模



※「Adventure Tourism Market - Global Opportunity Analysis and Industry Forecast, 2017-2023」をもとに作成。1ドル=110円で試算

出典:観光庁(H31)「地域の自然体験型観光コンテンツ 充実に向けたナレッジ集」

図 AT旅行者の特徴



※ ATTAのメンバーを対象に2021年(令和3年)6月から7月に調査を実施し、222の回答を得た。(ATTA「Adventure Travel Industry Snapshot September 2021」)

出典:観光庁「観光白書(令和4年版)」

### 【アドベンチャーツーリズムの定義】

「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行。  
旅行者自らが五感を使って地域ストーリーを感じる旅行のスタイルで、多くのAT旅行商品にはハイキング、トレッキング、サイクリング、ラフティング、カヤッキングなどが盛り込まれている。

### 【アドベンチャーツーリズムの意義】

気候変動や資源の枯渇などの課題に対応するための選択肢の一つ。かつ通常の旅行より地域に残る経済効果も大きいいため、「持続可能な観光」の実現にも深く関連している。



出典:JTBホームページ  
(<https://www.jtbw.com/government/trend/detail/id=1884>)

# 3 コロナ禍による社会・観光の変化⑨

## ■ 観光のDX化（高付加価値化）

- 旅行者の滞在時間増、再訪を促すためのツール、観光地の再生、観光関連産業の生産性向上、高付加価値化につながるものとして期待されている。

### 【観光のDX化の例】

- 旅行者への効果的な情報提供等により利便性向上と周遊促進



● SNSの積極的活用、デジタルマーケティングによる効果的な情報発信、キャッシュレス化による旅行者の利便性の向上、旅行者の行動実態の把握につなげる等。

● VR、AR・5G等のデジタル技術と地域の観光資源の融合による新たな観光コンテンツの創出。デジタルサイネージなどによるリアルタイム性の高い情報発信、観光アプリを使った混雑回避の取組等。

● キャッシュレス決済データ等を活用した再来訪促進・消費拡大、予約・経路検索データ等を活用した観光地の混雑回避の取組等。

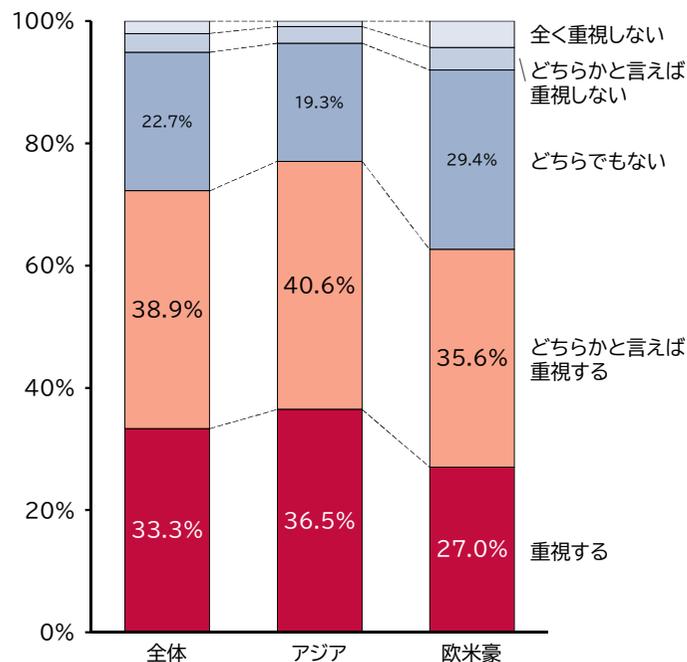
- デジタル化が遅れていると言われている旅行業、小売業、宿泊業のデジタル技術の活用による、業務・働き方改革、ビジネスモデルの変革

# 3 コロナ禍による社会・観光の変化⑩

## ■ 持続可能な観光（サステナブルツーリズム）

- 世界の旅行トレンドのひとつであり、国際的なサステナブルツーリズムへの関心が高まっている。
- 国内での認定も高まりつつあり、SDGsへの対応、コロナ前のオーバーツーリズム対策などとして既に取り組んでいる自治体もある。

図 海外旅行の訪問先や宿泊施設を検討する際、「サステナブルな取組を行っていること」を重視するか。



出典：DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2021年 第3回 新型コロナ影響度特別調査）

### 【持続可能な観光とは】

- 国連世界観光機関（UNWTO）による定義  
「訪問客、業界、環境及び訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在及び将来の経済、社会、観光への影響を十分に考慮する観光」

### （例）

- 観光で得られた収益を地域内で循環させることにより、**地域の社会経済活性化や文化・観光の保全と再生**を図る。
- SDGsとひもづける形で、持続可能な経済成長、資源効率、環境保護及び気候変動、文化的価値、多様性及び遺産など、SDGsとひもづいた活動の実施。
- 観光地でのリサイクル、食料廃棄の削減、公共交通の利用、プラスチック利用の削減など

# 4 次期観光振興プラン策定にあたって

- (1)観光振興プランの位置付け・計画期間(事務局たたき台)
- (2)目指すべき観光都市像の方向性(事務局たたき台)

# 4-1(1) 観光振興プランの位置付け・計画期間

(事務局たたき台)

## <観光振興プランの位置付け案（大まかな方向性）>

● 北九州市を楽しんでくださるすべての方（市民・近郊在住者、ビジネス・MICE来訪など観光以外の来訪者）を観光客と定義し、観光客のファン・リピーター化に向けた

①まち・エリアの魅力の向上や観光コンテンツ整備、

②市内観光産業の魅力向上、

③マーケットニーズに合わせた情報発信等

の今後のあり方の方向を示すとともに、来訪者数拡大と、本市観光への期待・満足度（訪れたい、泊まりたい、また来たい・住んでみたい）向上に向けた戦略

## <計画期間>

令和5年4月から5年間

## 4-1(2) 目指すべき観光都市像の方向性(事務局たたき台)

### 切り口①：一度は訪れたい、何度も訪れたい観光都市

- 「一度は訪れたい魅力」 = ここにしかない、目的地になる魅力  
(例 門司港レトロ、夜景、ジ アウトレットなど)
- 「何度も訪れたい魅力」 = 市民や近隣住民、来訪者が一度体験してみたら気に入る魅力  
(例 ビジネスやMICE後の小倉都心部での飲食、平尾台などでの自然体験)

### 切り口②：訪れた人の未来を創る観光都市

- SDGsをキーワードに学び・体験を提供し、ライフステージの変化に合わせて訪れる意味がある観光都市  
(例 子ども・学生：教育旅行、カップル：アウトドア、レトロな街なみ、家族連れ：ミュージアム観光、高齢者：歴史・文化)